

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 7 年 3 月 14 日

事業所名:ぽっとまむ

保護者等数(児童数) 17人

回収数 16人

割合 94 %

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%					既定のスペースを確保できております。活動内容により、ぽっとまむアクトを活用して参ります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	93%			7%	子どもの数と同じくらいスタッフさんがおられるので十分だと思います。	既定の人員配置を確保しております。保育士や幼稚園教諭、介護福祉士、教員免許等の有資格者が支援にあたっております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	80%	13%		7%		京都府福祉まち作り条例の規定に沿った設備の配置を行っております。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※1が作成されているか	100%					ミーティングや振り返りの中で、ニーズや課題を検討した上で、支援計画を作成しております。
	5 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	93%			7%		児童発達支援ガイドラインの示す5領域に沿って計画を作成しております。また、定期的なご家族様との面談を持つ機会や、他機関の連携についても、計画内に記載しております。
	6 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%					計画に沿った支援を行っております。
	7 活動プログラム※2が固定化しないよう工夫されているか	100%				季節に合わせた活動やイベントが組み込まれ、色んな経験ができています。	毎月職員ミーティングを行い、活動が固定化しないよう、意見を出し合ってプログラムを決定しています。
	8 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20%	13%	27%	40%	週に一回の療育で普段は幼稚園へ通っているので必要性は感じていません。利用日以外に接しているので不要です。	公園等で他のお子様と一緒にいる機会がございますが、積極的な交流は行っておりません。今後、インクルージョンの理念に基づいて検討して参ります。
	9 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	93%			7%		ご契約時に説明をしておりますが、今後も利用者様負担の軽減を念頭に、取組みを進めて参ります。
	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	93%		7%			面談時に支援についてご説明し、面談内容を踏まえて支援計画を作成し、ご説明しております。

環境 保護者への説明等	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%					既定のスペースを確保できております。 活動内容により、ぼっとまむアクトを活用して参ります。
	11	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング※3等）が行われているか	93%		7%		母子通所の施設ほどではないが連絡ノートやお迎えの際に丁寧に対応して貰っています。	ペアレントトレーニングは実施しておりませんが、年2回の親子行事の中で助言をさせて頂いております。また、送迎時にご家族様とお話をしたり、連絡帳を通してアドバイスをさせて頂いております。
	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%				連絡ノートや送迎の際に先生とお話できます。	今後も、連絡帳や送迎時、電話等を利用して、ご家族様との共通理解を図りたいと存じます。
	13	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%				とても助かっています。	遅くとも、半年に1度は面談の機会を設けております。適宜面談をさせて頂きますので、遠慮なく申し出下さい。
	14	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	27%	13%	47%	13%	必ずしも必要とは思わない。もし必要性を感じたなら、保護者が主導して施設の職員の方々と協力すると良いと思います。特に不要です。保護者会等は無くても良いです。お迎えの時に、必要があれば他の親御さんとお話できます。	ぼっとまむとしては、保護者会を設けてはおりませんが、ご家族様からのご要望があれば、検討させて頂きます。
	15	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	93%			7%		今後も、児童発達管理責任者を中心に、職員が連携して迅速に対応できるように致します。
	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%					これからも、安心して頂ける事業所であるよう努めます。
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	80%	7%		13%	毎月末に、来月の予定表の配布があって、子に療育日に何をするのか事前に伝えられて見通しを立てられています。	ぼっとまむ通信の再開やホームページの更新等、事業所として対応を検討する必要性を感じております。
保護者への説明等	18	個人情報の取扱いに十分注意されているか	93%			7%		今後も個人情報の取り扱いについて、職員間で十分注意して参ります。
	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	80%	7%		13%		各種マニュアルにつきまして、契約時に説明させて頂きました。改定時にはその都度お伝えいたします。
非常時等の対応	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	67%	7%		27%		毎年、火災や地震等を想定して訓練を実施しており、その都度、消防からのご指導も頂いております。
	21	子どもは通所を楽しみにしているか	93%			7%	ぼっとまむへ通ってから一度も嫌がったことはありません。「今日は何するのかな？」といつも行くのを楽しみにしています。幼稚園よりぼっとまむが好き、と言っています。楽しく行けています。	今後も楽しくすごして頂いたり、プログラムに参加して頂いたりできるよう励みます。
満足度	22	事業所の支援に満足しているか	100%				不安なことを相談すると必ず的確な答えが返ってくるのでずっと通いたいです。子どもの細かな事にも気付いてくださり、とても嬉しく思っています。きめ細やかに対応して頂いてありがとうございます。	これからも、お子様、ご家族様に満足して頂けるように努めます。ご質問やご意見等、いつでもお寄せ頂ければ幸いです。今後とも、宜しくお願い致します。

（注釈）

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※2「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※3「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせで実施されることが想定されています。

※4「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....

（保護者等の皆様へ）

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。